

【NEWS RELEASE】

2022年1月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社桐井製作所に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社桐井製作所（代表取締役社長：桐井 隆）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社桐井製作所については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 建物内部の安全性、快適性、施工性を実現するための内装資材の研究開発と、品質向上に向けた取組

目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.b 2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ（レジリエンス）を目指す総合的政策および計画を導入・実施した都市および人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組 2015-2030 に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。
目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.5 2030年までにイノベーションを促進させることや100万人あたりの研究開発従事者数を大幅に増加させ、また官民研究開発の支出を拡大させるなど、開発途上国をはじめとするすべての国々の産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力を向上させる。
目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。

② 内装用鉄鋼資材の循環利用による資源有効活用の促進

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.2 2030 年までに天然資源の持続可能な管理および効率的な利用を達成する。
-------------------------	---

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。



つくる製品に責任を持ち、
安心品質を追求



サプライチェーンにおいて
「循環型社会」「低炭素社会」
の実現に向けた取組



持続可能な社会の実現に向けて
暮らしと企業の BCP を支える
ソリューションを提供

<ご参考>

※ SDGs とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。